

授業概要

日本語が初級レベルの外国人にどのように日本語を教えるのかを学ぶ。日本語教育では「初級」ですでに日本語で生活できるだけの「話す」「聞く」「読む」「書く」の力をつける。「初級」は重要な位置づけで、この指導法を学ぶことは重要である。授業では、日本語教育機関で広く使われている『みんなの日本語初級』のテキストを使い教育場面でどのように教えているのかを学んでいく。また、模擬授業を学生の皆さんにしてもらい指導法を体得する。日本語学校、大学の留学生クラスの見学も行う。

授業計画

第1回	日本語初級レベルの「話す」「聞く」「読む」「書く」の基本的指導法
第2回	「こそあど」表現
第3回	助詞の教え方
第4回	動詞の教え方
第5回	形容詞の教え方
第6回	「こと」の使い方
第7回	模擬授業
第8回	「やりもらう」表現
第9回	「ている」「である」
第10回	条件文
第11回	「ように」の使い方
第12回	「の」の意味と使い方
第13回	敬語表現
第14回	模擬授業
第15回	「そうだ」「ようだ」の使い方
第16回	期末筆記試験

到達目標

初級レベルの日本語指導法を身につける。

履修上の注意

日本語教育概論を履修していること。

予習復習

学んだことを毎回復習すること。

評価方法

授業態度（10%）、発表、宿題などの課題（30%）、期末試験（60%）

テキスト

授業時にプリントを配布